

みんなでつくろう よりよい竜丘

～新体制でスタート～



発行所 龍丘公民館
編集人 龍丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
龍丘市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,787人
男子	3,328人
女子	3,459人
世帯数	2,280戸
(23年4月末現在)	

よりよい竜丘をめざして みんなでつくろう



「竜丘という地域を、そこに住んでいる人たちが自ら、自分の手でつくっていく」という目的で、組織化された竜丘地域づくり委員会が四年を経過し、五年目からの二年任期を担当させていただきますこととなりました。

竜丘に生まれ育ったとはいえ、この様な役を担うとなると、竜丘という地域の状況を、大凡ながら知っていなければなりません。それは、人であり、歴史であり、道であり、土地であり、自然であります。そのため夢中で飛び歩いている毎日です。

さて、飯田市には、地域自治組織が二十地区にありますが、その中央に位置する竜丘は、人口規模が六千八百人余で、一万二千〜一万四千人の地区は格別として、四番目にランクされています。そんな竜丘から周りを見回すと、こんなところが少く見えてきました。まず、竜丘は自治会が、更に地域づくり委員会があり、また、他の地区はまちづくり委員会に一本化されています。

を示した基本計画が策定されて、それを基にした運営がされていますが、竜丘にはありません。他地区ではその計画が、第二次、三次ともなっています。竜丘では、ようやく前年度に「竜丘がめざすもの」として、四ページのパンフレットが示されました。



各委員長抱負を語る

竜丘の安全・安心を担う役目を
安全委員長 三浦廣美



事務局の方や各部会の部長の方々が、本来、自分たちで使うべき大切な時間を、使いつつ、意を強くして腰を上げました。



福祉健康への取り組み

福祉という言葉が日常的になったのは、ごく最近ではないでしょうか。以前は、福祉の問題は特定個人の問題として扱われていたような気がしますが、ところが近年、少子高齢化の時代となり、国全体で取り組まないと大変なことになるといえるのが現実になって来たかと思えます。

きれいな竜丘
環境委員長 今村康雄



竜丘環境委員会では、「できることから始めよう、みんなでつくるきれいな竜丘」というスローガンに基づき、竜丘の住民が自ら、自分たちの住む竜丘という地域から不法投棄などのゴミをなくし、また、ゴミのリサイクル運動を推進していく日本のモデル地区になるよう、委員も含め環境問題を地区全体で考えていく取り組みを進めていきたいと思います。

交流の輪を
公民館長 木下和彦



昨年度の公民館活動は概ね順調でしたが、運動会が雨で中止にしまったのは悔いが残ります。しかし、各分館は苦勞して選手を選出し、練習を三晩もして、子どもたちの応援練習も十分出来ていたと聞いていますから、運動会は出来なかつたものの、公民館活動の役割は十分果たしていると思います。

公民館活動の真髄を突いた素晴らしいスローガンだと思えます。公民館活動の目的は、「活動を通して交流の輪が広がる、それによって地域内に知り合いが増える、そうすると安心して住める地域になる」ということだと思えます。

表彰

- ・活動を通じて多くの人と交流する「触れあつて」を学ぶ「学びあおう」今年度も、このスローガンに沿って活動をしていきたいと思えます。多くの地区民のご参加をお願いいたします。
- ・文化協力員 (正副委員長を歴任) 平成十四年〜十八年 社会委員 (委員長を歴任) 平成十九年〜二十年 民俗資料保存委員 平成十九年〜二十二年 (通算二十年)
- 北澤 崇さん (時又) 体育指導員 平成十三年〜二十二年
- 斎藤 たせ子さん (長野原) 飯田市体育指導委員 体育指導員 平成十五年〜二十二年
- 佐藤 賢次さん (時又) 文化委員 平成十六年〜十七年 文化協力員 (正副委員長を歴任) 平成十八年〜二十二年 (通算七年)
- 木下 春樹さん (長野原) 体育運営委員 (正副委員長、体育指導員を歴任) 平成十八年〜二十二年 (通算五年)

平成23年度竜丘地域づくり委員会 役員名簿

委員会名等	自治会役員	氏名	委員会名等	自治会役員	氏名
委員長	中平 龍興	安全委員会 (交通安全部会長)	副委員長	加藤 直樹	
副委員長	今村 正道	福祉健康委員会 (地域福祉部会長)	委員長	今村 正道	
副委員長 (会計)	原田 照子	福祉健康委員会 (健康推進部会長)	副委員長	太田 美代子	
総務委員	中平 龍興	環境委員会	委員長	今村 康雄	
総務委員	原田 照子	環境委員会	副委員長	東海林 幸代	
総務委員	小林 泉	公民館	館長	木下 和彦	
総務委員	大見 新一	公民館	企画委員長	木下 雅義	
総務委員	長谷部 進	公民館	企画副委員長	伊東 正直	
安全委員会 (生活安全部会長)	三浦 廣美				

「ご存知のとおり、浜岡原子力発電所の停止が決定しました。この決定は、私たちの生活に直結した問題となります。今までの生活の中でも節電を意識し、夏のクールビズの言葉は定着してきています。しかし、今年の夏は、電力不足のために、節電をしなければ電力が足りなくなり、停電となる事態も想定されます。政府は、「家庭での節電十五%」を打ち出しました。私たちの生活の中で、電気は欠かせない存在です。オール電化のご家庭も、少なくはないと思います。節電と一言で言うのは簡単ですが、具体的に何をすれば良いのでしょうか。一番効果的な事は、やはり冷房の使用です。冷房に頼らず、うちわや扇風機を使用できれば良いのですが、冷房を使用する場合は、既に実行されている人も多いかと思いますが、設定温度を二十八度にする事で、節電が可能になります。今年の夏は、気温は高くなる予測らしいですが、昨年のような極端な暑さはない見込みだそうです。節電しながら、少しでも快適に暮らせる工夫が必要ですね。企業では、休日変更を実施すると発表した企業もあり、使用電力の少ない土・日曜日を出動するそうです。世界では、昼間の時間を一時間早めて、冷房や照明を使用しなくても良い時間を増やす、サマータイムを導入している国が八十九カ国あります。日本でも一九四八年から四年間ほど導入されたそうですが、反対意見が多く廃止されたそうです。今後は、導入に関しての議論が活発になるかもしれません。

生まれ変わった鈴岡城址公園

～開園100周年記念つつじ祭り開催～



三日には、下平・南平の獅子舞、緑ヶ丘中学校吹奏楽部の演奏、四日には、囃子屋台の演奏や、飯田女子短期大学よさこいクラブ「乱舞咲」のダンス、Gストリングスによる大正琴の演奏等が行われ、また両日にわたり鈴岡太鼓による演奏で華が添えられました。

二日には、竜丘小学校の丘のみちしるべ探検(春の遠足)もあり、多くの小学生が公園をおとすれました。この公園は明治の終りに駄科の壮年団、青年団等の尽力により開園し、同盟会の手により整備等がなされてきました。飯田市との合併により、都市公園に位置づけられ、今日まで維持管理されています。

公園開園百周年をめぐし、市と地元で「鈴岡城址公園整備委員会」を設け七カ年の歳月へて公園の整備が行われました。その数年前から、整備に向けて研究も行われ、様々な方の協力により公園が整備されました。

足かけ十年余、公園は生まれ変わるほどの整備がなされました。本丸、出丸からは、遊具が撤去され、説明板が数多く設置されており、二の丸には遊具広場、あずまや、トイレ、水飲み場、駐車場が設置されました。

竜丘の地域資産である鈴岡城址がこの様に整備されたことは大変喜ばしいこととあり、私たちは、このことを大切に次世代に引き継いでいくことが必要です。新しい遊具には、数多くの親子連れが訪れ、休日を楽しんでいきます。とても喜ばしい姿です。この公園が、竜丘住民のみならず、多くの市民の憩いの場となることでしょう。

五月一日～五日にかけ「開園百周年記念鈴岡城址公園つつじ祭り」が開催され、多くの親子連れなどでたいへん賑わいました。



多くの観客の前で舞う

平成23年度 竜丘地域づくり委員会予算(案)

【歳入】 (単位:円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較	説明
01 会費収入	0	0	0	
02 補助金および交付金	16,889,000	16,794,000	95,000	
1 パワーアップ交付金(交付金A)	6,015,000	6,011,000	4,000	飯田市からの交付金
2 補助金(交付金B)	4,124,000	4,033,000	91,000	各種補助金
3 自治会費	6,750,000	6,750,000	0	自治会からの補助
03 繰越金	3,215,234	3,307,127	-91,893	前年度繰越金
04 繰入金	0	0	0	
05 寄付金	0	0	0	
06 預金利息	1,766	1,873	-107	
07 雑収入	438,000	455,000	-17,000	手数料、使用料、報償金ほか
歳入合計	20,544,000	20,558,000	-14,000	

【歳出】 (単位:円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較	説明
01 報酬	4,195,000	4,157,000	38,000	
02 賃金	2,180,000	2,165,000	15,000	委員報酬
03 手当	99,000	99,000	0	文書配達手当
04 報償費	0	0	0	
05 旅費	0	0	0	
06 交際費	124,000	120,000	4,000	慶弔費ほか
07 会議費	504,000	480,000	24,000	諸会議費用
08 消耗品費	740,000	700,000	40,000	事務用消耗品ほか
09 燃料費	0	0	0	
10 印刷製本費	30,000	30,000	0	印刷、コピー料ほか
11 光熱水費	0	0	0	
12 修繕料	60,000	60,000	0	施設、備品等の修繕
13 通信運搬費	20,000	30,000	-10,000	委員への会議通知ほか
14 手数料	48,000	48,000	0	振込手数料ほか
15 保険料	0	0	0	
16 賃借料及び使用料	150,000	120,000	30,000	事務機器等借上料、タクシー代ほか
17 維持管理費	0	0	0	
18 備品購入費	100,000	165,000	-65,000	パソコン周辺機器購入ほか
19 雑費	140,000	140,000	0	雑費
01 総務企画委員会費	13,357,000	13,407,000	-50,000	
01 総務企画委員会費	2,930,000	2,960,000	-30,000	
10 事業運営費	1,080,000	1,100,000	-20,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,850,000	1,860,000	-10,000	補助金等
02 安全委員会費	1,688,000	1,635,000	53,000	
01 総務企画委員会費 交通安全部会費	1,688,000	1,635,000	53,000	
10 事業運営費	1,088,000	1,050,000	38,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	600,000	585,000	15,000	活動費(区委員会へ)、補助金
03 福祉健康委員会費	2,878,000	3,035,000	-157,000	
01 総務企画委員会費 地域福祉部会費	2,588,000	2,760,000	-172,000	
10 事業運営費	1,136,000	1,308,000	-172,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,452,000	1,452,000	0	活動費(区委員会へ)、補助金
02 総務企画委員会費 健康推進部会費	290,000	275,000	15,000	
10 事業運営費	134,000	169,000	-35,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	156,000	106,000	50,000	活動費(区委員会へ)
04 環境委員会費	1,078,000	1,148,000	-70,000	
01 総務企画委員会費 環境委員会費	1,078,000	1,148,000	-70,000	
10 事業運営費	328,000	398,000	-70,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	750,000	750,000	0	活動費(区委員会へ)
05 公民館費	4,783,000	4,629,000	154,000	
01 総務企画委員会費 公民館費	4,783,000	4,629,000	154,000	
10 事業運営費	3,203,000	3,049,000	154,000	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,580,000	1,580,000	0	活動費(区分館へ)、補助金
03 予備費	2,792,000	2,594,000	198,000	
04 積立金	200,000	400,000	-200,000	安全委員会、環境委員会積立金
歳出合計	20,544,000	20,558,000	-14,000	

「今日は良い天気ですね」「昨年よりギフチョウは飛びますかね」皆の声が聞こえます。私は、昨年に続いての二回目の参加となり、昨年の曇り空に比べて、青空の暖かい春の日に、期待は膨らむばかりです。

開会の時間が近づくと、今年の参加者はいちだんと多いようです。最終的には六十五名と大変にぎやかなイベントとなりました。開会式では、会長さんの挨拶に続き事務局の松下さんにギフチョウの状況と環境のお話をお聞きし、保護

鈴岡城址公園100年のあゆみ

- 明治45年4月 城山公園開園式挙行政
- 大正5年5月 鈴岡公園碑除幕式挙行政
- 昭和3年3月 長野県指定公園となる
- 昭和6年5月 鈴岡城址記念碑建立
- 昭和10年 つつじ250本余植栽
- 昭和27年頃から毎年 同盟会、青年会等により公園整備、まつりを開催
- 昭和31年9月 合併により公園管理を市に移管、地元と共同管理
- 昭和46年5月 駄科商工会がまつり実施
- 昭和60年5月 公園開園60年祭実施
- 平成3年 「鈴岡公園今昔ものがたり」発行
- 平成23年5月 開園100周年記念行事開催



「飛んでいるギフチョウを見る会」の大切さを考えさせられました。さて出発です。長い列を作りギフチョウ公園から上川路の大畑地籍まで、周りをキョロキョロ見たり、昆虫友会の方々の説明を聞いたたりしながら、幼虫の食べるヒメカンアオイを見たりしながら進みます。ちょうど白井川を渡ってすぐ歓声が上ります。ギフチョウが飛んでいます。皆で大喜びです。

建設管理課庶務経理係より移動でまいりました。天童川美化活動等、これまでも竜丘地区の皆さまには大変お世話になりました。この度、安全委員会、日赤奉仕団等の担当をさせて頂いたできます。皆さまのお役にたてるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

人事

転入

戸籍担当 小木曾 誠

保健師 関島 睦子

この度の人事異動で座光寺自治振興センターより移動して参りました。竜丘の皆さまに暖かく迎えられることがたく思っております。

転出

長尾 謙 司さん 観光課へ転出

四年間お世話になりました。特に、安全委員会の皆さま、日赤奉仕団の皆さまには担当としてお世話になりました。ありがとうございました。

吉川 尚 子さん 退職

二年間という短い間ではありますが、竜丘の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

